

間十方

第
13
号

教区教化テーマ

創造と回復

— 温もりのあるお寺をともに! —

教区教化委員会 再編

二〇二三〜二〇二五年度

再編記念インタビュー

「部門長に聞いてみた」

新教務所員紹介

「教務所長・書記補にも聞いてみた」

発行日 2023年12月1日
発行者 山陽教区教化委員長 加藤 真樹
発行所 姫路市地内町1番地
編集 広報・情報発信部門

教化推進本部

部門理念

部門統括・調整、方針立案、緊急に取り組むべき課題及び事業に取り組む。

● 部門理念をどのように受け止めておられますか？

本部は基本的に事業を持ちませんが、教化委員の学習・聴聞の場はあってもいいのかなと思います。教区教化ということも、個人個人が聴聞する教化があつて、それが一カ寺から組、組から教区という共同教化へと広がりを持つてくるということだと思つて、それをどう事業に落とし込んでいくかだと思つています。また、そういう学びの場という意味でもいろんな人が入れ替わり教化委員に選ばれているということは大事なことだと思つています。

● これからの任期三年間で部門長として大事にしたいことはなんですか？

教区改編を見据えて、山陽の教化は何が大切か見極めて、教化の足場固めをちゃんとしたいと思つています。その際に広島方面と姫路方面とで分けてしまうのではなく、これまで一緒に頑張ってきた歴史があるので、そのことも大事にできた

らと思つています。

また、四国教区に習い、組との連携に重きを置いて、組の事業計画と繋げられるような動きができればと思つています。

● 今現在、部門について心配事や困っていることはありませんか？

本山から言つてくることをどう教区に落とし込めるか。今は教務所員さんに調整していただいているところがあるので、教区人が自ら改編のことも本山のことも考えていけないといけないと思つています。

● 部門（部門員）のカラーはどんな感じですか？

本部は充て職なので、カラーというの難しいですが、今、各部門長との会議は月に一度持っています。本部員の中には改編の協議会に出ている方もあるので、色々な情報を共有しながら全体を見通して話し合えるのかなと思つています。

● 大切にしている言葉はありますか？

「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」『歎異抄』

「人間とは悲しみを抱えた存在です」佐野明弘先生

● 教区の人に伝えたいこと

一緒に手を携えていきましよう！

（本部長：日野雅範）



部門員（写真並び順・敬称略）

北浦康至・栗栖寂人
日野恵理子・泉純一・木村慎・邨上了圓
藤本浩之・日野雅範・寺川大雅

（他、教化委員長・各部門長を加えた15名で組織）

部門理念

次世代を担う青年・少年・幼年の啓発・育成と教化の場の創造に取り組む。

青少幼年部門

● 部門理念をどのように受け止めておられますか？

幼い頃とか若い頃に出会った言葉や人の影響力って大きくなっても残っているなということを実感しているので、そういう比較的幼い若い方のために、良き言葉や良き人に出会ってもらいたいなということも思っています。その視点を大事にしていきたいなと思っております。

● これからの任期三年間で部門長として大事にしたいことはなんですか？

自分がお寺にいたり大人だと、若い方に接する時、どうしても教えてあげるという感覚で話したり、あるいは逆にプレッシャーを感じてしまったり知ったかぶりしてみたりと、圧を持って接してしまう自分がいるんですけれども、逆に幼い甥っ子とかと話していて、子供の何気ない一言ですごく気づかされることがあるので、そういうことにも気づいていけるような自分でありたいなと思います。そのためにはそれだけの心にゆとりを持った聞き方と、自分が年上だとかお寺のものだっていう変な意識を持たずにいることを大切にしていきたいなと思っております。

● 今現在、部門について心配事や困っていることはありませんか？

今年度、各組の青少年教化担当者を集めての一泊研修を計画してはいますが、これだけの方を集めて、それだけ中身のあるものにどうやったらできるのだろうかということも今悩んでいます。内容としては、若い子の悩みに対してどう返せばいいんだろうということの学びをしたいと話合っています。

● 部門（部門員）のカラーはどんな感じですか？

比較的若い方も多いので、若い方の意見もあり、中年の方の意見もあり、それでいてすごく和気あいあいとして、一人一人が話しやすい雰囲気であると思います。あと女性が一人増えたので、私自身がちょっとリラックスできているのがすごく大きいなということも思います。やはり男性と女性っていうと異性というだけで肩張ってしまうところがあつたので、性別がちやんと両方いるっていうのがすごく大きいなということも思います。

● 大切にしている言葉はありますか？

宮城顕先生の、「お仏壇に、その人の好きだったものをお供えしちや駄目なの」という問いに対する答えで、「正式にはそうかもしれないけれども、やはり人の思いが一番大事だからしたかったら何でもしていいんだよ」という言葉。

● 教区の人に伝えたいこと

山陽教区はすごく広くてお会いできない方もたくさんいると思いますが、実際に会わなくても言葉に出会うということがあるので、いろんな発信を私もしていきたいし、皆さんとも言葉の上だけでも繋がっていききたいと思っております。

（部門長・惣持留理）



部門員（写真並び順・敬称略）

三次正信

勝間海・湯朝良尚・多田頭
青山祐一・惣持留理・大塚愛子

部門理念

同朋の会の結成・充実に向けた取り組み、及び門徒並びに一般の教化の場の創造に取り組む。



部門員（写真並び順・敬称略）

安藤正博・山下久美・柴田みつ子・安藤智宣
内藤和裕・西堀秀行

同朋の会推進部門

● 部門理念をどのように受け止めておられますか？

教区教化ということを考えたときに、同朋の会の結成充実に向けた取り組みということ、一番核になる部門かなと思います。前任期ではコロナもありどう場を開いていくのがいいのか悩ましく、またトップダウンの事業に手を取られ、なかなか自分のやりたかったことができなかつたところがあります。今期こそはこの部門の担うべき事業として大事なことを考えながら、しつかり形作っていきたいと思っています。

● これからの任期三年間で部門長として大事にしたいことはなんですか？

一番は部長という責任感で自分が先走るんじゃないかと、部門員の皆さんの話をしっかりと聞かせてもらって、部門として一体となって進んでいきたいなという思いがあります。ただそれだけじゃなくて、やっぱり自分が引張っていかないといけないという場面があればできる限り何とかできればなという思いです。苦手なんでしょうけれども。

● 今現在、部門について心配事や困っていることはありますか？

この部門は、今期から新しく立ち上がっていく事業がほとんどなので、形が決まってることの中身を考えていくのではなく、ゼロベースから立ち上げていかなければいけないというこの不安はすごくあります。特に来年の一月に赤穂組を対象とした同朋の会ミーティングという名称の事業を考えているんですけど、なかなかその内容がまとまらないのが直近の不安ではありますね。

● 部門（部門員）のカラーはどんな感じですか？

ご門徒の方がお二人おられるということもあって、いろんな角度からの意見を出し合っていただけのような部門かなというのを思います。いきなり教区の教化委員になられて戸惑われていた方もあったと思うんですけども、割と皆さんご発言もしていただいて、すごく頼もしく感じています。

● 大切にしている言葉はありますか？

「わかってもわからなくても、お念仏申しなさい。そしてお念仏によって育てられなさい」 信国淳先生

● 教区の人に伝えたいこと

教区内の一カ寺一カ寺に対して影響が及ぼせるぐらいのことを考えていけないといけないと思うので、ぜひ一緒に手を取り合いお互いにそれぞれの意見を聞き合いながら歩んでいきたいらなということを思っておりますので、よろしくお願いします。

（部門長・内藤和裕）

教学・研修部門

部門理念

住職・教師・僧侶・坊守の育成と場の創造に取り組む。

● 部門理念をどのように受け止めておられますか？

お聖教を読むということが命題だと思っています。そしてそれを一緒に味わうということが大切だと感じています。お聖教を一人で読むことは大変難しいことだと思いますので、それはお聖教を読むということは、その内容を理解するということと、それをある意味で実践するということとの間にあるからだと思うんです。つまり日常の中で考えるとか日常の中で頂くということが大切で、だからこそ難しいんじゃないかと思いません。

● これからの任期三年間で部門長として大事にしたいことはなんですか？

安居・聖教学習会・儀式研修会という三つの事業をしっかりとやっていきたいと思っています。特に聖教学習会においては、これまで年度毎に計画していたものを、今期三カ年全十回は継続した内容になるよう最初から決めてやっていこうと思っています。今決定しているのは、『高僧和讃』をテキストにして梶原敬一先生にお話いただこうと思っています。

● 今現在、部門について心配事や困っていることはありませんか？

部員さんが学べる環境にしたいなという理想があります。教化委員というものは事業を行うものとしての側面と、学べる環境を与えられるという側面の両面があると思っています。僕自身が教化委員会のおかげで学ばせていただいたという思いが強くありますので、これをご縁にお聖教に触れられて良かったなと思ってもらえるようなことにできるかどうかだと思っています。これはまだ決定ではないのですが、聖教学習会にあたり、事前輪読会をできないかなども画策しています。

● 部門（部員）のカラーはどんな感じですか？

前期から引き続いての方と、新しく入っていただいた若い方がおられます。皆さん柔らかくていい雰囲気なのですが、副部长さんは僕がお聖教と関係ない話をしてる時にグツと引き戻してくれるような役目を担ってくれて、大変助かっています。

● 大切にしている言葉はありますか？

「好きなお聖教は？」は難しいですね。「好きなアイドルは？」並みに難しい。いっぱいありすぎて出てこないです。

● 教区の人に伝えたいこと

教区って楽しいですよ。お聖教って楽しいんですよ。一緒に聞きましょう。

（部門長：後藤功）



部門員（写真並び順・敬称略）

南枝讓・廣住祐樹・藤野如子・武田文
水野元・後藤功・谷川法海

社会問題部門

部門理念

教区が大切に取り組んでいる非核非戦・阪神淡路大震災・ハンセン病問題をはじめ、様々な社会問題を真宗の教えに基づき自らの課題として取り組む。

私にはその問題は関係ないと言つてこられない方が多いのではないかなという思いが常々あって、けど真宗に基づいているならば、その問題を学ぶことによって絶対そこに私を映す鏡が現れると思うんです。その鏡に自分が気がついて歩んでいけるかというのがすごく大事なのではないかな。そうすると、そこに自分への問いが生まれてくるので、自分の課題として歩んでいくチャンスが芽生えてくるんだと思うんですね。

● 部門理念をどのように受け止めておられますか？

部門理念で一番大事なのは、「真宗に基づき」と「自らの課題として」という部分だと思います。つい私達は社会問題っていうとその一つの問題にだけ目がいつてしまふんですけど、本当はその問題を通して私がどう問われているかの方が大事なのではないかな。それが見失われると、真宗の山陽教区でやる意味が見えなくなってしまうのではないかなというのをいつも考えています。学習会の出席率が非常に低かったりするの、

● これからの任期三年間で部門長として大事にしたいことはなんですか？

対話と交流っていうのが絶対大事で、一番駄目なのがトップダウン。偉い人の言うことを聞く、今までこうだからこうなんだと言つて続けていくことが一番問題なんではないかなと思います。なのでちゃんと座談をする。そして一人一人全員が絶対喋るといのがすごく大事で、よく喋る人喋りにくい人がいても、全員が自分の意見を言えるような場を作りたいたいと思つ

ております。

今回三年間はジェンダーを勉強していくことになっていきますので、男女共同参画の方と一緒にコラボ企画をしていったりできるかなと思っております。

● 今現在、部門について心配事や困っていることはありますか？

教区の中の動きがわからないというところくらいですかね。教区の働きとか動きとか、縦横の繋がりがわかからないのは、これからかなと思っております。

● 部門（部門員）のカラーはどんな感じですか？

今回八人中女性が三人入ってるんです。その中でご年配の男性からジェンダーに対してすごく前向きなご自分の思いが出されたりして、皆さんが興味を持って一緒に勉強しましょうという雰囲気になっているところがすごくいいかなと思っております。今のところ仲良しです。ただ揉めたらいいんだと思うんですよ。色々揉めながら学んでいけたらいいと思います。

● 大切にしている言葉はありますか？

「はじめに尊敬あり」
「他人と過去は変えられないが自分と未来は変えられる」
「常識とは、一八歳までに培われた偏見である」
「何もかもはできないが何かはできる」

● 教区の人に伝えたいこと

お仲間に加えていただいで、ありがとうございますということですかね。教化委員会にしても坊守会にしても、すごく温かく迎えてくださるのでそれは心強く思っています。



部門員（写真並び順・敬称略）

藤間友衣子
長坂知春・嶋津周平・北風智史・發知道隆
中杉隆法・房常晶・飛松五男

（部門長・房常晶）

広報・情報発信部門

部門理念

教化情報の発信と共有に取り組む。

● 部門理念をどのように受け止めておられますか？

「発信」に関しては、『聞十方』や冊子に加え、前期から新たにLINEを始め、それぞれ役割が違おうと思っています。手に取って物として残る紙媒体の『聞十方』、誰でも見れてどんどん情報が更新されていく冊子、登録者に一方的に情報を送ることができないLINE。そして「共有」という部分では、例えば教区の学習会などでは参加

者固定の問題がありますが、それは広報のやり方以上に距離の問題や兼業の問題などオンラインでも参加できない事情があるのでないかと思っています。そこに対するフォローとして、YouTubeやアーカイブを作るだとか、講師の先生の資料をLINEで発信するなどの共有が出来るのではないかと考えています。

● これからの任期三年間で部門長として大事にしたいことはなんですか？

教区のことだけでなく、組や別院や団体のことなども、できるだけ冊子やLINEをみれば情報がわかるような形をとりたいなと思っています。もう一つは部員さんに願うこととして、やりたいことがあったら、できるできないに関わらず提案してみたいなと思っています。発信方法もどんどん新しくしていけばいいと思っていますので。それと今後四国教区と合同になったときのことを踏まえてある程度足並みが揃えられるような形作りもこの三年間の課題であろうなと

思います。お互いの教区のいいところを吸収して高め合っていければと思います。

● 今現在、部門について心配事や困っていることはありますか？

冊子も広報誌も何の知識もノウハウもない中、広報部に任命されて本を買ったりして前期三年間なんとかやってきましたが、全く追いついてないというのが現状です。また、新しいことをどんどんやりたいとは言っても、やはり最終的な権限は教化委員長であり教化本部長なので、責任がそっちに行くと思うとちょっと尻込みするところがあるかもしれないです。

● 部門（部員）のカラーはどんな感じですか？

冊子担当、聞十方担当と役割分担してお任せしていますが、それぞれで進めていただけていいところもある反面、それぞれのこと口を出しづらいところもあるのかなと思っています。なので、今期はある程度担当以外であっても、更新などができるようにしたいなと思っています。

● 大切にしている言葉はありますか？

「ひとえに親鸞一人がためなりけり」『歎異抄』

● 教区の人に伝えたいこと

学びの場が広がるようLINEの機能を広げていくので、ぜひ登録して活用してください。また、冊子にこんなページがあったらいいとか、LINEでこんな機能があったらいいなというアイデアがあれば是非教えてください。

(部門長： 上岸佑介)



部門員（写真並び順・敬称略）

福永雅文

日野和雅・藤谷真・上岸佑介・泉原奈都子

新 教務所員紹介

加藤真樹 教務所長 (2023年7月1日付)

山陽教区のイメージは？

以前、20代後半の頃に山陽教区に5年間おりましたが、「陽」の字の通り明るく人情深い土地、方々だと思っています。当時も忙しかったですがたくさんの方とご一緒に楽しくて、離れがたかったのを覚えています。

宗務役員として大事にしていきたいことは？

小さなことに喜びあうこと。教務所として、小さな仕事でもやってよかったねと声かけ合えるようなチームになりたいと思っています。今、宗務役員を続けてきて、自分まで伝わってきたお念仏の歴史が各地でつながってきているのを感じます。何でもないことに感動できる新鮮さをもろう、そういう力が蘇るということを実感しています。

大切にしている言葉はありますか？

「天命に安んじて人事を尽くす」清沢満之
「夜になったら寝るんです」『北の国から』

趣味や今はまっていることは？

ラグビーや野球など、スポーツ全般です。また、息子二人が鉄道にはまっているので、自分も真剣に見るようになりました。それと土地土地での温泉巡りも好きですね。あとはおっちゃんのソフトボールチームに入っています。

好きな食べ物、差し入れは？

お酒は飲めませんが、食べるのは好きで、御座候など甘いものも好きですし、広島風お好み焼きも大好きです。

高桑優和 書記補 (2023年8月1日付)

山陽教区のイメージは？

初めての教務所なんですけれども、教務所に来られる方々など皆さん気軽に声をかけてくださって、働く上で非常にありがたく感じています。

宗務役員として大事にしていきたいことは？

『宗憲』前文に「同朋の公議公論」ということが書かれていますが、その理念を大切にしつつ、門徒さんと接する現場となる教区で、その現場の言葉をどう本山に繋げられるかということをおもったりしますね。

おすすめの本は？

『石光真清の手記』全4巻 石光真清 著
『往生と殺生のあいだ』苅米一志 著

趣味や休日の過ごし方は？

乗り物全般が好きです。鉄道・バイク・車など。休日に出歩くことは少ないですが、温泉に行くのは好きです。最近は大谷大学の福島栄寿先生の明治初期における琉球への布教の歴史研究のお手伝いなどもしています。

好きな食べ物、差し入れは？

なんでも食べます。餃子とか好きです。お酒だと日本酒を好みます。

山陽教区公式LINE 最新情報！

公式LINEでは教化事業などの最新情報を発信しています。さらに今、アイコンタッチで必要な情報を回答してくれる大変便利な「**リッチメニュー**」を試験導入中です。ぜひご登録いただき、お試しください！

広報・情報発信部門からのお知らせとお願い

教区ホームページをご覧ください <https://sanyo-kyoku.jp>

Facebook @sanyokyoku

Twitter @sanyokyoku_koho

Fax 079-292-1747(山陽教務所)

E-mail sanyo@higashihonganji.or.jp



「法語掲示板」募集中！

- ・各種関係書類がダウンロードできます
- ・教区内での活動情報など、掲載ご希望の方はご連絡下さい
- ・ご意見、ご感想、ご要望等、お聞かせ下さい

